

令和7年度 第1回地域連携推進会議 議事録

法人名	特定非営利活動法人 北区精神障害者を守る家族会飛鳥会		
事業所名	グループホーム・フレンドハウス		
開催日時	R7(2025)年8月29日(金) 13:30~15:15		
開催場所	フレンドハウス・ホームⅠ 共有スペース		
出席者	構成員	人数	備考
	・事業所職員	1	施設長、管理者、サービス管理責任者、世話人
	・当事者	1	入居者
	・当事者家族 兼 経営に知見のある方	1	当事者家族・元会社役員・飛鳥会会长
	・地域の関係者	1	自治会副会長・民生委員・商店主
	・福祉に知見を有する方	1	保健師
	・市町村担当職員	1	北区福祉部障害福祉課
議題	はじめに…特定非営利活動法人北区精神障害者を守る家族会飛鳥会の紹介 1. 施設長挨拶 2. 出席者の紹介 3. 地域連携推進会議の趣旨 4. フрендハウスの運営方針 5. 利用迄の流れ 6. 利用状況等 7. 支援内容 8. 活動状況 9. 地域との連携 10. 事故報告について 11. 苦情対応について 12. 質疑応答 13. フрендハウス入居者居室及び建物内見学(ホームⅡについては写真にて案内)		
協議内容	1~11…略(当日資料参照)		
意見等	12 (感想含む) ① 当事者インタビュー 事者がグループホームを利用しようと思ったきっかけはどういうことですか? ・実家で親と暮らしていると家事は任せっきりになってしまふ。親がいつまでも元気ではないし実家だと親と衝突してしまう。 ・食生活と生活リズムの改善 見学に至るまでには葛藤や勇気がいましたか? ・見学が決まるまでに家で衝突がありました その後体験泊を経て入居してどうでしたか? ・最初は落ち着かずトイレに行くのも気を遣ったが何回かやっていくうちに慣れてきて、実家暮らしとかけ離れてはいないと感じました ② 感想・質疑応答 ・グループホームと言うことは分っていたが中のことは分からなかったので知ることが出来ました		

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害があっても無くても家族が高齢になっていざれに備えることは必要と感じました ・生活保護の方がグループホーム卒業～地域単身生活に備え貯金をすることは可能ですか？ <p>ケースワーカーと相談しながらになりますが家具什器で揃えられないものの購入資金として了解を得られることもあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後のアパート探しは大家さんの理解が必要 ・施設長が長年地元に居るので地域の方の協力を得られました ・フレンドハウスの所在地は精神科単科病院が2カ所あるので、古くから居る方はなんとか精神障害者を身近に見ることが多い地域です
次回会議	令和8年度に行いますが時期は未定。1ヵ月前までには案内を送付します